



free paper ペッコ
PECCO
 Vol.54 2021.2

発行 岩手県立図書館

～素敵な図鑑の世界～



絵がすごい！編

図書館には、一般書と区別して「参考図書」(レファレンス・ブック)というものがあります。手に取られる機会は少ないのですが、図書館スタッフが業務の中で調べものをするときは、頻りに利用しています。実はこのレファレンス・ブックにはユニークなものがたくさん！そこで今回は、前回までと少し趣向を変え、当館所蔵資料の中からおすすめの「図鑑」、中でも「絵がすごい！」図鑑を厳選して紹介します。



第1冊

請求記号
R485.3/スギ

杉浦千里博物画図鑑
美しきエビとカニの世界
Natural history illustrations of Chisato Sugiura

成山堂書店
杉浦千里 画
2012

この図鑑には【エビ類】【ヤドカリ類】【カニ類】【カブトガニ類】がオールカラーで掲載されています。この図鑑に掲載されているような緻密で写実的な絵は「博物画」と呼ばれ、絵画とは異なり、鑑賞のためではなく観察対象の色や形を詳細に記録するために描かれます。



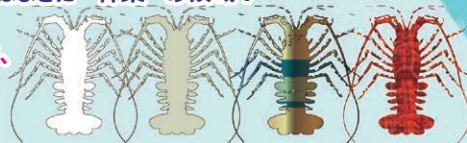
オールカラーですべて手書きで描かれています。触角の根元の不規則な模様、カラのドゲや凹凸、足先の細かな毛までとても丁寧に描き込まれています。

図鑑の冒頭で、

極限まで細部にこだわって描かれた作品はまさに“神業”の領域！

って書いてあったけど本当にそう！リアルなエビやカニが真っ白な背景に描かれているから、図鑑というより画集みたい！

こんなすごい絵、どうやって描くんדרう？



巻末に載っている制作過程によると、乾燥標本を使って原寸大に描き出す本当に細かい作業！ちなみに、この絵を描いている杉浦さんは、ウルトラマンでおなじみの円谷プロで怪獣のデザインもしていたんだって！

そう言われてみると、エビもカニも、どこか怪獣っぽい雰囲気があるかもね！



第3冊

請求記号
R474.7/シミ

カラー版
冬虫夏草図鑑

Illustrated Vegetable Wasps and Plant Worms in Colour
家の光協会／清水大典 著／1997

自然界の不思議な現象のひとつ、冬虫夏草。昆虫に寄生するキノコの種類で、世界の400種のうち日本では300種が見られます。この図鑑には、内外で注目の新発見種を含む338種が収録されています。



冬虫夏草の実物はとても小さく、乾燥や土が付いていたりなどで、色や形が分かりにくいものですが、この図鑑では、昆虫の部分とキノコの部分の両方が、はっきりと大きく描かれています。



第2冊

請求記号
R470.38/アサ

浅野貞夫日本植物生態図鑑

SADAO ASANO'S BIOLOGICAL FLORA OF JAPAN

全国農村教育協会
浅野貞夫 著
2005

この図鑑は、植物を生態学的にとらえ、環境、気候、分布、種子重量、散布器官型、地下器官型等々を図と解説で判るように編集した本格的な植物生態図鑑です。著者の浅野さんは、植物の一生を追跡しながら1種類の植物の一生を2～3年かけて完成させました。こうして50有余年をかけて555種類の植物図を完成させ、これを1冊にしたのが本書です。



植物の一生を1枚の図で同時に見ることができます。春～冬、芽ばえ、花から果実、種子、休眠芽まで克明に観察されており、日本は勿論、世界でも類を見ない植物生態図鑑です。

色が付いてないからちょっと「ぬりえ」みたいな図鑑だけど、根や茎のうぶ毛も一本一本描き込んであって、本当に繊細！



浅野さんは「日本の植物学の父」と言われた牧野富太郎さんの植物図鑑を繰り返し読んで、覚えたらページを破って飲み込んだという逸話があるんだって。最後には図鑑が一冊無くなったというから、どれほど植物研究に打ち込んでいたか分かるよね。

それはすごい！

お勉強も、教科書食べて覚えられたらいいのになあ～。



どうゆうかそう

冬虫夏草って名前も生態も不思議すぎる！虫からキノコが生えてるってことでしょうか？



昔の人が

「冬は虫として動き回り夏は草に変わる」と考えたことから冬虫夏草と呼ばれているんだって。



そうなんだ～。ちょっと怖いけど、この図鑑は全部絵だからそこまで怖くないし、だんだん面白くなってくるね♪



図鑑の最後の方には冬虫夏草の探し方が載っているから自由研究などで挑戦してみるのもいいかもね！



今回紹介した図鑑は3階の参考図書コーナーにあるよ。

貸出はできないけど、図書館内で見ることが出来るから、ぜひチェックしてみてね！





よみがえる荒地

戦後詩・歴史の彼方・美の終局

山下洪文 著 / 未知谷 出版

鮎川信夫、北村太郎から、三好豊一郎、吉本隆明まで「荒地派」の主要詩人8人を包括的に網羅し論究。戦後詩の始まりを告げた荒地派の動きを克明に辿り、根底にある意義を現代に突きつけます。著者は岩手県出身です。



大谷翔平「二刀流」の軌跡

リトル・リーグ時代に才能を見出した指導者と野球愛風土

小林信也 著
マガジンランド 出版

二刀流の怪物・大谷翔平が少年時代を過ごした岩手県水沢市には、野球を愛し、人生を野球にかける男たちがいた。「怪物」を育てた水沢リトルの誕生や大谷翔平をめぐる数々の幸運、大谷翔平に学ぶ野球少年の育て方などを綴ります。



文豪と借金

泣きつく・途方に暮れる・踏みたおす・開きなおる・貸す六十八景

「文豪と借金」編集部 編
方丈社 出版

「ふざけたことに使うお金ではございません。たのみます——」石川啄木、太宰治、芥川龍之介、樋口一葉、林芙美子など、文豪59人の「借金」をテーマにした小説、随筆、書簡のアンソロジーです。



雑魚のとまじり

花咲一男 著 / 幻戯書房 出版

関東大震災、敗戦、高度経済成長、そしてバブル崩壊を生き抜いた近世風俗研究の巨頭・花咲一男による、日本そして文学の記憶と記録。「注文の多い料理店」を独自の目線で読み解くほか、宮沢賢治の新たな一面を考察する「われ修羅に燃えて呻吟す」を収録しています。



ザシキワラシと婆さま夜語り 遠野のむかし話

佐々木喜善 著 / 河出書房新社 出版

柳田国男にふるさとの伝承を提供した佐々木喜善。遠野に生まれ暮らした喜善が残したもうひとつの遠野物語「老嫗夜譚」と「奥州のザシキワラシの話」を、親しみやすい現代仮名遣いで収録しています。



サガレン

樺太 / サハリン境界を旅する

樺久美子 著 / KADOKAWA 出版

かつてこの国には「国境線観光」があった。チーフホフや北原白秋、そして宮沢賢治が訪れた樺太 / サハリン、旧名サガレン。なぜ彼らはこの境界の島に惹きつけられたのか？ 宮沢賢治の旅の追いながら、近現代史の縮図をたどります。